



台北国際航空ステーション 民衆向けサービス白書

目次

壹、序文.....	1
貳、各部門/室の職務.....	1
参、サービス標準の向上.....	4
一、ステーション部門サービス標準向上の監督指導.....	4
二、自己のサービス標準向上.....	5
四、優良環境の提供.....	7
五、将来の作業における重点.....	9
六、終わりに.....	9



台北国際航空ステーション 民衆向けサービス白書

壹、序文

松山空港は国内空運路線の中枢であり、毎年、多くの旅客が利用し、全盛期には 1,500 万人に達しておりました。しかし、台湾高速鉄道の運行後、西部航空路線は大きな影響を受け、現在は東部及び離島といった国内航空路線を維持するのみとなりました。2008 年 7 月 4 日、政府による台湾・中国間チャーター便の解放後、松山空港は台湾・中国間の航空路線のみならず、日本、韓国といった首都空港の定期国際航空路線にまで拡張いたしました。台北国際航空ステーションは、民用航空局の「航空安全の増進」、「便利なサービスの提供」、「満足度の向上」の 3 大政策に基づき、ソフトウェア及びハードウェアにおいて各作業を取り決め、十分に組織の機能を運用し、ステーション全社員の政策力により、民衆のために優れたサービスを提供し、サービスクオリティを高めております。

貳、各部門/室の職務

松山空港において民衆のための各種サービスを実施するために、台北国際航空ステーションには 5 部門・4 室が設けられ、それぞれが各種業務及び内容を管轄しております。

- 一、業務部は、ステーションの管理、営業運営、商業活動及び旅客サービスといった事項を管轄しております。